



平成 26 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 株式会社 M o n o t a R O
代 表 者 名 代表執行役社長 鈴木 雅哉
(コード番号：3064 東証第一部)
問 合 せ 先 執行役管理部門長 甲田 哲也
電 話 番 号 (06) 4869-7190

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 1 月 29 日に公表しました平成 26 年 12 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正致しますので、お知らせ致します。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 26 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	42,647	4,210	4,197	2,444	40.07
今回修正予想 (B)	44,684	4,327	4,345	2,531	41.45
増減額 (B-A)	2,037	117	148	87	—
増減率 (%)	4.8%	2.8%	3.5%	3.6%	—
<ご参考> 前期実績 (平成 25 年 12 月期)	34,556	3,885	3,901	2,289	37.71

(2) 業績予想修正の理由

当社は、当連結会計年度 (平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日) 上半期において、①3 月における消費税増税前及び決算に伴う需要の拡大、②新規に取扱いを開始した国内ブランド商品等の売上伸長、③検索エンジンへのリスティング広告出稿や検索エンジン最適化 (SEO) の取組み等による新規顧客獲得の好調等により、前回発表を上回る業績を達成致しました。また当社は、上記②③を主たる要因として、下半期も当初計画を上回る売上の伸長が続くものと考えております。但し、当社下半期の利益率に関しましては、新規に取扱いを開始したカテゴリーを中心に国内ブランド商品の売上伸長が依然として大きいと想定していること、また当初の計画では第 4 四半期における一括計上を予定していた米国関連会社 ZORO からのロイヤルティー収入を第 1 四半期からの四半期毎の計上に変更したこと等により、当初計画より低く見積もっております。

一方、当社の韓国子会社である NAVIMRO Co., Ltd. の上半期業績も当初計画を上回っており、当社は、この傾向が下半期も続くものと考えております。

以上の次第で、上述の通り、連結業績予想の修正をすることと致しました。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上